

まちづくり、を考える情報誌

Let's まちづくり From now on



# おまち

Vol.  
113

2019. 5. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



「館林駅西口駅前広場」完成記念オープニングセレモニー



## 館林市のまちづくり

●「館林駅西口駅前広場」が完成しました～利便性の向上と賑わいの創出の場。両毛地域の玄関口～

【投稿】富岡市景観まちづくり講演会「今ある資源を生かしたまちづくり」

【投稿】平成30年度桐生市景観講演会「桐生の審美的な位相に関する考察」

【連載】観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.19

良きライバル意識が地域を磨く ～愛着と誇りを生み出す

「観光エリアマネジメント」という考え方

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 ミズベリングフォーラム2019～川ろうぜ、街がえようぜ大会議～に参加してきました♪
- マーチィの独り言

【まちづくりイベント情報】県内で行われるイベントの紹介





# 「館林駅西口駅前広場」が完成しました ～利便性の向上と賑わいの創出の場。両毛地域の玄関口～

館林市 都市建設部 区画整理課

平成31年3月24日(日)に「館林駅西口駅前広場」の完成を記念してオープニングセレモニーが開催されました。桜の開花が待ち望まれる中、関係者約100名の出席をいただき、盛大に執り行われました。

西口駅前広場は「館林都市計画事業西部第一中土地区画整理事業」において整備を進め、東武鉄道館林駅の東西連結機能の充実と館林市西部の交通結節点としての役割を担うものになります。

館林駅の西側は戦前まで正田醤油株式会社と日清製粉株式会社(現在の株式会社日清製粉グループ本社)の他は民家が点在し、田畑が広がるのどかな風景でした。その後、高度経済成長期を迎え、館林駅のすぐ西側は立地の良さから優良な住環境を求める声が高まり、土地区画整理事業と共に館林駅の西口に広場を設置しようとする計画が立ち上がりました。

それまでの館林駅は駅前広場が東口にしかなく、特に朝夕の通勤通学時間帯は路線バスやタクシー、送迎用の車両による混雑が課題となっていました。

また、館林市は古くから駅の東側を中心に発展してきた歴史があり、駅の西側も含めた都市の均衡ある発展が課題となっていたため、西口駅前広場の整備は館林駅を中心とした賑わいを作り出す拠点として注目されるようになりました。



位置図



鳥瞰図



平面図



整備状況(H28)



整備状況(H30)



整備状況(H31)





平成21年度に「館林東西駅前広場連絡通路」が完成したことを受け、平成24年度から西口駅前広場の築造に着手したものの、用地の確保に時間を要し、大部分は平成29年度から工事を行いました。工事施工中は広場の一部を供用しながら整備を行ったため、通行者の安全確保には特に気を配りました。

完成した西口駅前広場は面積が約7,000㎡(同駅東口広場の1.75倍)であり、東西駅前広場連絡通路から各乗降場へと続く連続シェルターにより、雨に濡れずに路線バスやタクシーへの乗り換えができます。また、多目的トイレと有料駐車場(32台)をロータリーの内側部分に配置し、緑地帯には市内の各団体から寄贈された記念樹や温度計のほか、館林市を象徴する数種類のツツジを植栽しました。開放感のある広いオープンスペースも確保し、民間活力を利用したイベントも企画されています。冒頭で紹介したオープニングセレモニーもこちらで行われました。



地元保存会による八木節の演奏



市内の高校和太鼓部による演奏



テープカット



くす玉の開披



館林駅

昭和29年頃の館林駅周辺の様子  
(中央が館林駅、線路を挟んで手前が西口方面)

館林駅は、明治40年(1907年)に開業した歴史ある駅であり、県内で6番目に乗降客数が多い駅です。また、東武伊勢崎線、佐野線、小泉線の3路線が交錯するターミナル駅であり、「浅草駅」や「とうきょうスカイツリー駅」まで急行で約1時間と交通の利便性が高く、近隣市町からのアクセスも良い所にあります。館林駅西口駅前広場は各種端末交通手段の乗換場所としての機能はもちろんのこと、館林市の新しい玄関口として人々の往来が活発となり、館林市の賑わいの中心になってくれるものと期待しています。

#### 【館林駅西口駅前広場概要】

- ・整備面積 7,048㎡
- ・タクシープール 12台
- ・有料駐車場 32台(身体障がい者用1台含む)
- ・トイレ 1箇所  
(男性、女性、多目的用各々1箇所)
- ・乗降スペース
- ・シェルター  
(フッ素樹脂酸化チタン光触媒膜使用)
- ・その他
- ・照明灯(LED)、給水設備、屋外コンセント、サークルベンチ等
- ・一般車3台、タクシー2台、身障者用1台
- ・路線バス2台、一般バス2台
- ・バス待機場 一般バス2台





# 富岡市景観まちづくり講演会 「今ある資源を生かしたまちづくり」

富岡市 建設水道部 都市計画課



景観まちづくり講演会の様子  
(左から沼田さん、入山さん、高橋さん、大塚さん)

富岡市では、毎年「景観まちづくり講演会」を開催しており、昨年度は富岡市拠点整備課と連携し、「今ある資源を生かしたまちづくり」をテーマとして、2月17日(日)に講演会を行いました。

現在の富岡市は、人口減少や事業者の高齢化に伴い、空き家・空き店舗が増加し、生活の拠点であったまちなかの空洞化が進んでいます。また、世界遺産である富岡製糸場の来場客数も年々減少し、まちなかでの消費行動は少なくなってきています。

今回は、そんなまちの縮退を解決する「リノベーションまちづくり」に携わってきた(株)富岡まち繰るみ舎代表の入山寛之さん、NPO法人DNA代表の沼田翔二郎さん、元富岡市地域おこし協力隊の高橋淳さん、富岡市拠点整備課の大塚貴紀さんの4名を講師としてお迎えし、対話形式による講演会を行いました。

講演会の冒頭では、富岡市地域おこし協力隊として活動してきた高橋さんに「リノベーションまちづくりとは何か。なぜ必要なのか。」ということ富岡市の現状や課題を踏まえて、説明していただきました。

講演会の冒頭では、富岡市地域おこし協力隊として活動してきた高橋さんに「リノベーションまちづくりとは何か。なぜ必要なのか。」ということ富岡市の現状や課題を踏まえて、説明していただきました。

「リノベーションまちづくり」とは、空き家や空き店舗などの遊休不動産をリノベーションの手法を用いて活用し、エリアの価値を高めることによって、地価の向上、新たな雇用の創造などを図ることを目的とした取り組みです。

入山さんが代表を務める(株)富岡まち繰るみ舎では、10年以上空き家だった2棟の長屋を宿泊施設として活用した「まちやど」事業を手掛けています。「食事はまちなかの飲食店、お風呂はまちなかの銭湯」といったまちを一つの宿と見立てて、地域全体で宿泊客をもてなす「まちやど」事業の魅力は、富岡の日常を味わえることです。事業を手掛けている入山さんには、「まちやど」事業を始めることになった経緯やこの事業に対する思い、今後のビジョンなどを熱く語っていただきました。また、様々な立場から携わってきた沼田さん、高橋さん、大塚さんを交えた対話の中では、「こんなことがあったね」と事業が始まってから現在までを振り返り、大変だったことや嬉しかったことなど、ここでしか聞けない話を和気あいあいとした雰囲気の中で来場者へ伝えていただきました。

講演会後のアンケートでは、「何か協力できることがあれば、手伝いたい」と共感する声を多くいただき、今後のまちづくりを進めていく上で、決して他人事ではない「当事者」が増えるきっかけづくりとなりました。



まちやど事業について説明する入山さん



# 平成30年度桐生市景観講演会 「桐生の審美的な位相に関する考察」

桐生市 都市整備部 都市計画課

桐生市では、景観行政団体になった平成25年以降、景観形成に関わる様々な取組みを実施しており、そのひとつとして、多くの方に景観を意識し考えていただく機会となるよう、景観講演会を開催しております。3回目となる今回は、桐生市芸術大使である画家の山口晃さんを講師に迎え、3月16日(土)に桐生市立中央公民館市民ホールにてご講演いただきました。

また、講演会の関連イベントとして、「山口晃 ポスター展」を約1ヶ月にわたり市役所市民サロンにて開催し、山口さんがこれまでに関わった個展、講演会等のポスター14点、故郷桐生を描いた作品「ショッピングモール」のレプリカ展示と併せて、桐生市の景観の取組みを紹介しました。会場は連日多くの方で賑わい、山口さんの世界観を体感するとともに、景観まちづくりを感じていただく機会となりました。

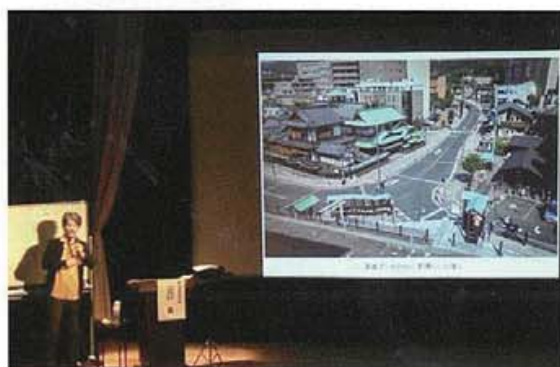
さて、講演会ではまず「市の取組み」を説明し、「景観とは人が見ることで起こる現象」で、「良い景観とは、見たいものが見えやすい状態」にあること、「見たいものが見える視点と、見えやすい角度である見込角を考えていくことが重要である」といった景観形成のポイントもお伝えしました。

次に、「桐生の審美的な位相に関する考察」と題し、ご自身の作品を通して、画家としての視点からユーモアいっぱいにお話しいただきました。「人は見たいものを見る習性があり、主体となるものを抜き出して描く絵画と通じものがある」とし、「構図を大切にすることで、その場に無いものまでも描き、絵に閉じ込めた力を逃すことなく循環(色の濃淡による印象の変化、見る方の視線がどのように移ろうかなど)させる」と作品づくりのポイントも語っていただきました。構図を意識し、魅力的な空間づくりに繋げていくことは、景観を考える上でとても参考になりました。

また、山口さんがタイトルバック画を手掛ける、現在放送中のNHK大河ドラマ「いだてん ～東京オリムピック噺～」に関連して、現在の日本橋への想いを「観照(思い込みを排除し、虚心に見ること)」という表現で語り、「自分の感覚器官を最大限に働かせ、思い込みを外すと判断のもう少し奥にある所で心が動き出す」とし、画一的な視点でなく、歴史的な背景など個々の状態を見極め、そこにある美を見出すことが「景観づくり」に繋がると語られておりました。

結びに、桐生のまち並みや何げない路地には、素材を少し変えてみることで、大きな手間(資金)をかけずに今あるものを魅力的にする「潜在力」があると写真を交えながらご紹介いただきました。

アートの世界を通して景観まちづくりの手法を多角的にお話しいただき、多くの方が景観を身近に感じていただくきっかけとなる、楽しい講演会になりました。





## 良きライバル意識が地域を磨く ～愛着と誇りを生み出す「観光エリアマネジメント」という考え方

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

前回の北区の観光まちづくりの続編をレポートしようと考えていましたが、北区観光の数々の魅力が生み出されている原点を考えているうちに大事なことに気づきました。今回は、そこを掘り下げてレポートしたいと思います。

### ■「王子」vs「赤羽」(北区)・「蒲田」vs「大森」(大田区)

「北区」は全体としての強い地域イメージはないものの、王子は文化的なイメージ、赤羽は賑わい、そして田端は鉄道と、北区を構成している地区ごとのイメージはかなり鮮明で、それぞれのファンが数多くいます。

おっ!! まっつい～93号(2016年1月)のレポートで先輩方が大田区を取材しましたが大田区も同様。文化の大森と賑わいの蒲田のライバル意識が今も残っていると聞きました。さらに、蒲田の周辺の羽田(漁村から空港へ)や池上(本門寺と梅園)、馬込(文士村)、六郷(多摩川土手)等の各地区にもそれぞれの個性が豊かなため、逆にオール大田区となると、強いイメージづくりに繋がっていないとのこと。北区と同様の悩みを感じました。

このライバル意識があることは、地域の統一イメージづくりにはおいては一見マイナスの力が働いているように思われるものの、観光まちづくりを進める原動力になっているものと取材して感じました。



王子の飛鳥山公園には渋沢栄一の史料館があります。深谷の記念館と同様に、等身大のパネルが来場者を迎えてくれています。

### ■観光エリアマネジメントとは・・・

大田区では、2018年度に「大田区観光振興プラン2019-2023」が検討され、大下先生が委員長を務められました。同プランでは、区全体として取り組む観光とは別に、異なる特性を持っている地区がこれまで取り組んできた地区単位での観光資源を活用し、適切な観光振興策を考案・実施していく「観光エリアマネジメント手法」を新しく導入することで、観光の取組みの一貫性と継続性・持続性を維持できると示しています。

地域の中には少なからずライバル意識はあります。それを巧く引き出すことで、新たな観光資源の掘り起こしや磨きかけにつなげ、その取組みを通じて地域に対する愛着と誇りを高めようとする「観光エリアマネジメント」の考え方は、先進的な取り組みであり、今後、多くの地域の手本となるのではないかと考えています。



赤羽の人気店では昼でも長蛇の列が・・・、これだけ並ばれていると、つい並んでみたくなるものです。

### ■住民参加⇒市民協働⇒市民自治への展開

人口が伸びなくなる時代は、これまで造ってきたインフラや施設を使い勝手のよいようにリニューアルして使う時代であると、授業やゼミで散々聞かされました(もちろん試験にも出ました)。新しく道路や公園をつくる時、また新しい観光・集客プログラムを考える時も、地域の住民の意向や考えを取り入れる「住民参加」の手法が採られてきました。

そして現在は、観光分野においては、「住民参加」からその先の「市民協働」へと向かってきています。観光まちづくりの最前線は、「市民協働」を通じて地区単位で観光資源を管理・活用し観光・集客の商品づくりにつなげていく時代に向かっているのではないのでしょうか。観光を通じて地区に収益をもたらす新しい商品づくりへの取組みこそが、観光エリアマネジメントに求められる関係者の姿勢であり、「市民協働」から「住民自治」へとつながる一歩先の地域のあり方を示しているのです。観光まちづくりに関わる主体がそれぞれの想いの花を咲かせる令和の時代の幕開けです。



王子は都電が走っています。新しい形式の都電は、懐かしさと新しさの両方を感じることができる大切な観光資源でもあります。

担当(高林風馬・大澤亮介(大下ゼミOB・現在(一社)東京北区観光協会)





# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け！

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！

「高さ制限とまちづくり」

著者：大澤昭彦 出版社：株式会社 学芸出版社



今号のおすすめ  
ライブラリー  
こちら！



建物の高さは都市のあり方に大きく影響するが、その規制の緩さに起因して住民と事業者の意識にズレが生じている。

本書は、建築物の高さ制限の実態や課題を明らかにすることを通じて、今後の建築・都市計画法制のあり方や、これから高さ制限の導入や見直しを行う自治体等にとって有益な知見が示されている。

また、地区レベルから行政区域全体まで、多様なレベルでの活用が可能である景観法に基づく景観計画の観点からも、全国自治体の高さ制限の実態と課題を示しており、高さ制限を活用したまちづくりの事例として、城下町の景観や水辺の景観、山への眺望景観など、テーマに分けたまちづくりの実例も紹介されている。

建築物の高さを適切にコントロールすることは、街並みを形成する上での重要な要素となることから、行政、住民等がまちづくりのあり方を考える上での手引書として活用できる一冊となっている。

## マーチィ VOICE

### ●ファシリテーターの紹介●

甘楽町 建設課 山田 勇人



山田 勇人さん(左から3番目)



講座の様子

平成30年7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けました甘楽町建設課の山田です。

私は、「魅力あるまちづくりパートナーネットワーク講座」に参加させていただくまで、ファシリテーターについて全く知りませんでした。そんな中初めてファシリテーター役をした時、時間調整をしながら意見の引き出しを行うことはとても難しかったです。それでもワークショップの回数をこなしていくことで、ノウハウを少しずつ学びながらグループの方々にも助けられ、全6回の講座を修了することができました。ワークショップでの素材集めとして街歩きを

する中でグループの方々より親睦を深めることができ、さらに大下先生や事務局の方々の巧みな場づくりのおかげで講座が進んでいくほど楽しく学ばせていただきました。最初は知識もなく不安でしたが、自分にとって為になる技術を身に着けながら、受講者の方々との貴重な交流もでき、本当に濃密な6日間を過ごすことができました。

甘楽町では、今年度よりアクションプログラムの策定に取り組む予定ですので、的確な事前準備やポジショニング手法など、講座で学んだファシリテーターとしての技術を活かしてこれからのワークショップに臨んでいきたいと思っています。

## マーチィの掲示板

### ミズベリングフォーラム2019に 参加してきました！！

皆さん、こんにちは。まーちィす2年目のとっていです。

2019年2月28日(木)、東京都渋谷区にある渋谷ストリームホールで行われた「ミズベリングフォーラム2019～川ろうぜ、街がえようぜ大会議～」に参加してきました。

このフォーラムは、水辺の利用者を増やし、まちと一体となって水辺を徹底的に活用する「ミズベリング」を広めることを目的に、国土交通省とミズベリングプロジェクト事務局が共同で開催したものです。

「川ろうぜ、街がえようぜ大賞」を受賞した11団体の方から取組事例の紹介がありましたが、どれも常識に捕らわれない取組で、まちを変えていくためには柔軟な発想が大切なんだと改めて感じました。オープニングから演出が派手だったり、在フィンランド日本国大使館の職員とテレビ電話による中継をして現地の先進事例を紹介したりと驚くことばかりでした。また、スマートフォンを使いリアルタイムで質問やコメントをすることができ、それに対してパネリストがコメントをするなど、会場が一体となったフォーラムになっていて、終始楽しみながらまちづくりについて考えることができました。



多くの人で賑わう会場



全員参加のバックキャスト討論会

## マーチィの 独り言



「おっ！！まっちィ〜」をご愛読の皆様、こんにちは。今年度の第一号は、新元号「令和」とともに発行させていただきます。

「おっ！！まっちィ〜」では、まちづくりの取組み事例などを紹介させていただいていますが、読者の皆様が思わず行ってみたい、参加してみたいと思うような旬な情報をお届けしたいと思いますので、よろしくお祈りします。





# まちづくりイベント情報



## 老神温泉大蛇まつり

赤城神社境内で厳粛な儀式が終わると威勢の良い男女大勢が大きなへびの形の神輿を担ぎ、かけ声も華やかに温泉街を練り歩きます。今年はオリンピック開催年にちなんで20m 20cmの白蛇モチーフの大蛇みこしがお披露目御座います。

■5月10日(金)、11日(土)  
11:00~  
赤城神社神事(予定)  
■老神温泉街  
【お問い合わせ先】  
老神温泉観光協会  
TEL 0278-56-3013



## 安政遠足「侍マラソン」

毎年、5月第2日曜日開催。侍姿のランナー達が日中山道を走るため、見学でも楽しめます。今年映画になりました。

■5月12日(日)8:00スタート  
■武家屋敷前(スタート)~くつろぎの郷(関所ゴール)~  
熊野神社(終ゴール)  
【お問い合わせ先】  
安中市体育課  
(安中市スポーツセンター)  
TEL 027-362-2500



## JAZZ in 酒蔵2019

### 「坂元杏理 with 瀬田創太 LIVE」

歴史遺産を生かしたまちづくりに取り組んでいる「まちづくり玉村塾」では、毎年酒蔵ジャズコンサートを開催しています。今回の出演者はジョーカリストの坂元杏理さん(群馬県出身)とピアニストの瀬田創太さんです。

■5月18日(土)16:00開場 16:30開演  
■町田酒造店酒蔵  
(玉村町下新田619  
旧国道354号沿い)  
【お問い合わせ先】  
町田酒造店  
TEL 0270-65-2050



## 苗原湖堰堤まつり2019

18日の宿泊者限定の前夜祭では、ダムマニアの宮島咲さんをお迎えして講演会を開催します。19日は迫力の全門点検放流、法面開放のほか、特製絵巻付きダムカレーやオリジナルグッズの販売もあります。

■5月18日(土)前夜祭、19日(日)  
18日19:00~21:30、19日10:00~15:00  
■苗原ダム周辺  
【お問い合わせ先】  
老神温泉観光協会  
TEL 0278-56-3013  
国土交通省利根川ダム統合  
管理事務所管理課  
TEL 027-251-2021



## 第35回 渋川駅前通り歩行者天国

歌や踊りの路上イベントやフリーマーケットなど、各種催しでにぎわう歩行者天国のイベントです。

■5月19日(日)10:00~15:30  
■渋川駅前通り(渋川駅北信号~平沢橋までの市道)  
【お問い合わせ先】  
渋川駅前通り商店街  
振興組合  
TEL 0279-23-8066



## 上州高山村 春のそば祭り

村のそば粉を使ったもりそばが1食500円  
持ち帰り用生麺も販売

■5月19日(日)10:00~(そば無くなり次第終了)  
■道の駅「中山盆地」(高山村大字中山2357-1)  
【お問い合わせ先】  
高山村役場地域振興課  
TEL 0279-63-21111  
(代表)



## 桐生八木節まつりin浅草

桐生が最も熱くなる3日間を東京・浅草で再現! アツい桐生を体感してください!

■5月24日(金)~5月26日(日)  
14:00~20:00(平成30年度実績)  
■まるごとっぽん前  
【お問い合わせ先】  
桐生市観光交流課  
TEL 0277-46-1111  
内線566



## とみおかマルシェ

「田舎の市場」をイメージし、市内の特産品を中心に、季節に合ったこだわりの農産物や加工品、料理などが集結します。ぜひお出掛けください。

■5月25日(土)10:00~16:00  
■富岡市役所前広場  
(しるくるひろば)  
【お問い合わせ先】  
「とみおかマルシェ」  
実行委員会事務局  
(富岡市観光交流課)  
TEL 0274-62-5439



## 上州真田 三名城ウォーキング 2019&真田特別講演会

統日本100名城でもあり、上州真田の代表的な三名城のうち岩櫃城を中心としたウォーキング(ガイド、解説付きです)。午後は、真田氏の特別講演会も実施します。

■5月26日(日)東吾妻ウォーキング  
9:00~13:00(ウォーキング)、  
14:00~16:00(講演会)  
■東吾妻町コンベンションホール  
【お問い合わせ先】  
東吾妻町 まちづくり推進課  
TEL 0279-68-2111



## 両毛線沿線のほほんいろどりトリップ 特別着付けプログラム

着物が桐生のまちを歩いてみませんか? 当日は桐生三大市も開催しています!

■6月1日(土)  
9:00~16:30  
■桐生博物館記念館  
【お問い合わせ先】  
桐生市観光交流課  
TEL 0277-46-1111  
内線566



## 1000人ROCK FES.GUNMA2019

伊香保グリーン牧場を会場として、全国から1,000人のメンバーを集め、THE BLUE HEARTSの楽曲を一緒に演奏します。

■6月1日(土)14:00~  
■伊香保グリーン牧場  
【お問い合わせ先】  
1000人ROCK 実行委員会  
1000rockfes@gmail.com



## ホテルの夕べ

道の駅甘楽南のせせらぎの路に舞うホテルの幻想的な光をお楽しみください。道の駅甘楽では営業時間を延長して軽食・飲み物などをご用意しています。

■6月7日(金)~6月8日(土)、  
6月14日(金)~6月15日(土)  
食堂・フードコートのみ  
21:00まで延長営業  
■道の駅 甘楽  
【お問い合わせ先】  
道の駅 甘楽  
TEL 0274-74-5445



地域の宝を掘り起こす! 観光事業支援

## まちづくりラボ・サルベージ株式会社



- ・観光事業 (PR) 支援
- ・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活用した商品  
ご当地メニュー開発
- ・観光市場調査

四季彩の社サイト



弊社公式ページ

ブランドマネジメント支援を行った  
『町田薬師池公園四季彩の社』  
ウェブサイトがオープンしました!

東京都町田市町中1-22-7  
TEL: 042-729-8618 FAX: 042-729-8619



## 帝京大学 経済学部 観光経営学科

Faculty of Economics Department of Tourism Management



幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識をあわせ持った人材を育成します

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

八王子キャンパス  
オープンキャンパス2019日程  
詳細はホームページをご覧ください。

6月16日(日)  
7月13日(土)・7月14日(日)  
8月4日(日)・8月18日(日)  
9月22日(日)

お問い合わせ  
TEL: 0120-508-739

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359  
URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp>

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3685 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>